私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0009429

株式会社　山極

環境経営レポート 2023

活動期間（2023年4月1日～2024年3月31日）

SDGs宣言書

1 社会課題解決への貢献

2 環境保全への取組み

3 公正な事業慣行･組織体制

4 地域社会への貢献

認証･登録日　2013年6月7日
作成日　2024年6月7日
改定日　2024年9月7日

＜ご挨拶＞

当社は昭和４３年創業以来、金属リサイクル業（再生資源）を主に製造工場から発生する金属、自動車解体から発生するミックスメタル（金属の混合物）、一般廃棄物、産業廃棄物に含まれる金属（鉄・非鉄金属・レアメタルなど）のリサイクル事業と産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理・産業廃棄物再生事業を営んできました。
　今後も、私たちのかけがえのない地球をまもるため、環境に優しいリサイクル事業に取り組みます。

株式会社　山極
代表取締役　山極　進一

≪目次≫

Ⅰ．　環境経営方針　･･･ P2

Ⅱ．　組織の概要（事業所名、所在地、事業概要、事業規模）　･･･ P3

Ⅲ．　対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間　･･･ P4

Ⅳ．　許可の概要　･･･ P5－P6

Ⅴ．　処理工程図　･･･ P7

Ⅵ．　受諾した産業廃棄物の処理量　･･･ P8

Ⅶ．　有価物の処理量　･･･ P9

Ⅷ．　ＥＡ21推進体制　･･･ P10

Ⅸ．　環境経営目標とその実績　･･･ P11

Ⅹ．　処理量100t当りの二酸化炭素排出量の年度別推移　･･･ P12

Ⅺ．　環境経営活動の取組と評価　･･･ P13

Ⅻ．　環境関連法規制の遵守状況
XIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示　･･･ P14

Ⅰ．環境経営方針

［基本理念］

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要
課題のひとつと認識し、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

［基本方針］

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の主力事業である、非鉄金属、鉄の選別・加工及びアルミ缶・スチール缶・ペットボトルのプレス・破砕加工で技術的・経済的な事情を考え、環境に与える影響を減らすとともにリサイクル社会の実現に努めます。

① 二酸化炭素排出量削減のため、使用電力の削減、使用化石燃料の削減、廃棄物の単純焼却の削減に努めます。

② 事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑えるとともに、再利用の向上に努めます。

③ 限りある水は、使用量の削減のため節水に努めます。

2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営活動計画を作り、取組みます。策定した目標・活動計画は定期的または必要に応じて見直します。

3. 事業活動において、環境に関わる法律や規制などの公的な基準を守ります。

4. SDGsに基づき、社内外に好循環を生み出す取組を推進し継続的な取組および、その改善に努めます。

5. この環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境に対する教育を行い、社員の環境に関する意識の向上をはかります。

2024年9月7日

株式会社　山極

代表取締役
山極　進一

Ⅱ．組織の概要（事業所名、所在地、事業概要、事業規模等）

1. 事業者名及び代表者名
　　株式会社　山極
　　代表取締役　　山極　進一

2. 所在地

　　［本社］　　群馬県太田市大原町82－5
　　［営業所］群馬県太田市大原町1534－5

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	代表取締役	山極　進一
環境管理責任者	専務取締役	山極　修
環境管理責任者		山極　剛
統括環境管理責任者	取締役	山極　圭悟
担当	EA21事務局	阿久澤　守英
		黒澤　千尋
		竹澤　小百合

連絡先　　TEL　0277－78－2741
　　FAX　0277－78－2743
　　E-mail　yamagiwainc@email.plala.or.jp

4. 事業概要

　　再生資源卸売業
　　・非鉄金属原料（銅、真鍮、アルミニウム、他）
　　・産業廃棄物中間処理業
　　・産業廃棄物収集運搬業
　　・廃棄物再生

5. 事業規模

法人設立年月日	昭和63年4月1日
資本金	1，000万円
売上高	27億5571万円
事業年度	4月1日から3月31日
従業員数	29名
就業時間	8：15～17：30
年間稼働日数	286日
敷地面積	本社　15，180㎡ 営業所　6，435㎡

Ⅲ.　対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社　山極　全組織、全活動を対象範囲とする。

再生資源卸売業
・非鉄金属原料（銅、真鍮、アルミニウム、他）
・産業廃棄物中間処理業
・産業廃棄物収集運搬業
・廃棄物再生

2. レポートの対象期間及び発行日、改定日

対象期間 ： 2023年4月1日～2024年3月31日
作　成　日： 2024年6月7日
改　定　日： 2024年9月7日

Ⅳ. 許可の概要

(1)産業廃棄物中間処理業許可

群馬県許可番号	01020 006586
許可の年月日	令和3年2月1日
許可の有効期限	令和8年1月31日
事業の区分	中間処理(圧縮)(破砕)
産業廃棄物の種類	金属くず(圧縮) 廃プラスチック(破砕)
施設の種類	圧縮・破砕
処理能力	379t／日(圧縮) 1. 04t／日(破砕)

(2)産業廃棄物収集運搬業許可

県名	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限
群馬県	01000 006586	令和5年10月19日	令和10年10月18日
埼玉県	01100 006586	令和6年1月25日	令和10年12月19日
栃木県	00900 006586	令和5年12月13日	令和10年12月12日
長野県	2009 006586	令和5年12月3日	令和10年12月2日
茨城県	00801 006586	令和6年6月4日	令和11年3月26日
千葉県	01200 006586	令和6年4月15日	令和11年3月26日
東京都	13 00 006586	令和6年6月20日	令和11年6月19日
神奈川県	01400 006586	令和6年6月3日	令和11年5月6日
福島県	00707 006586	令和2年6月2日	令和7年3月31日

① 事業区分　　収集 、運搬

② 許可の条件　　なし

③ 産業廃棄物の種類　廃プラスチック類(以上1種類)

金属くず(以上1種類)

(3)産業廃棄物再生事業者登録

県名	登録番号	再生の方法	廃棄物の種類
群馬県	第30号	圧縮・切断・選別	金属くず

(4)古物商許可 (群馬県公安委員会)

公安委員会名	許可番号
群馬県公安委員会	421110218200号

(5)解体工事業者登録

県名	登録番号
群馬県	群馬県知事(登-26)第413号

(6)使用済自動車解体業許可

県名	許可番号
群馬県	20103002797

(7)使用済自動車引取業者登録

県名	登録番号
群馬県	20101002797

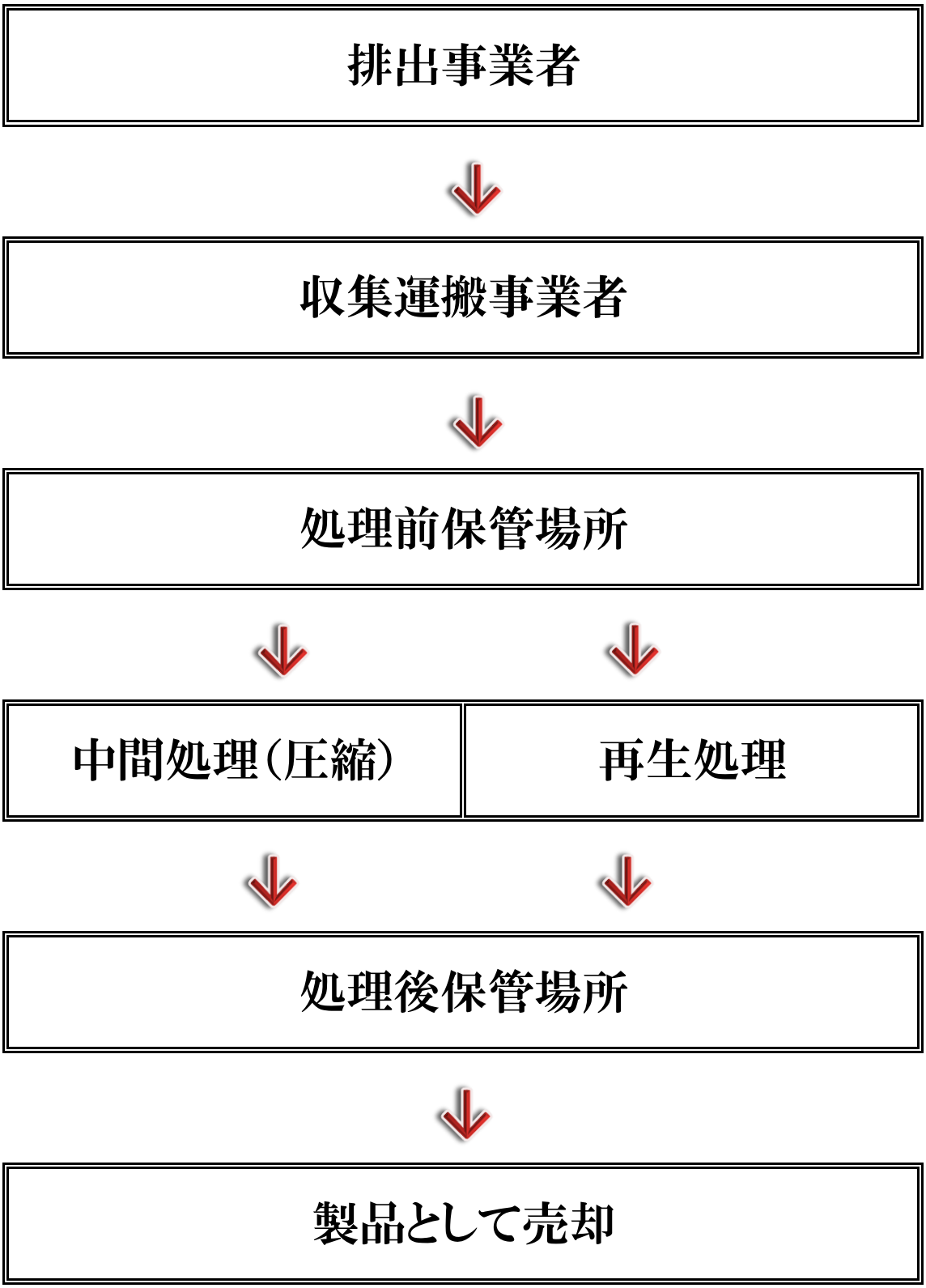
（10）収集運搬車輌

13t平ウイング	・・・1台
13tアームロール	・・・3台
12t平ボディーダンプ	・・・2台
7tアームロール	・・・2台
7t平ボディー	・・・1台
4tアームロール	・・・1台
3．5tクレーン付平ボディ	・・・1台
1t平ボディ	・・・1台

（11）重機

ショベルローダー（バケット付）	・・・3台
フォークリフト（全回転ホーク付	・・・7台
フォークリフト（バケット付）	・・・5台
フォークリフト（アタッチメント無	・・・2台
油圧ショベル（全回転付）	・・・3台
油圧ショベル（マグネ付）	・・・1台
油圧ショベル（カッター付）	・・・1台
油圧ショベル（圧破砕機付）	・・・1台
油圧ショベル（ハサミ）	・・・1台

Ⅴ．処理工程図



Ⅵ.　受諾した産業廃棄物の処理量

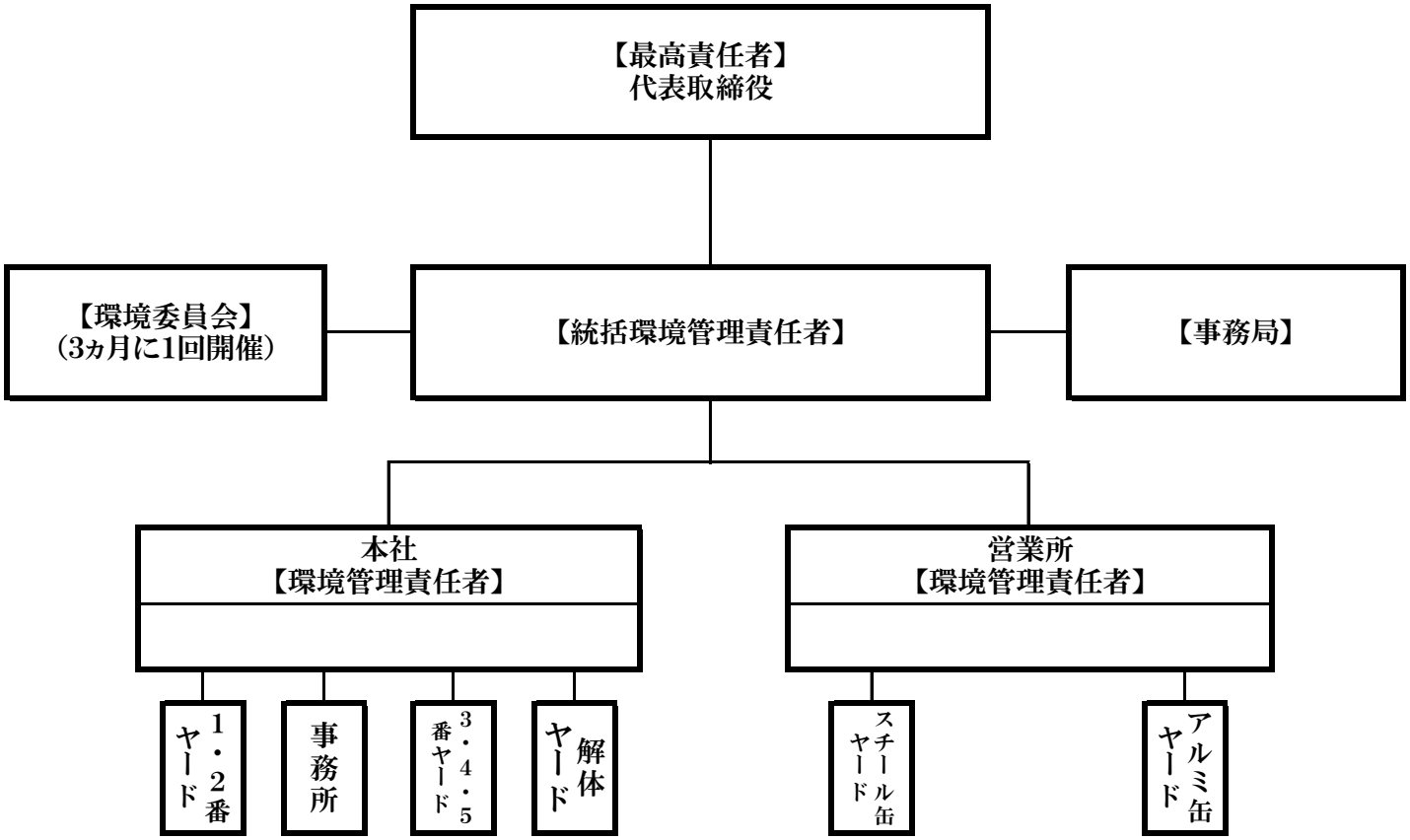
環境レポート		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(kg)
(ⅰ)収集運搬		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類		141,301
		木くず		12,630
		金属くず		14,082
		ｼｭﾚｯﾀﾞｰﾀﾞｽﾄ		17,080
		混合廃棄物		
		ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず・がれき類		14,360
収集運搬量合計				199,453
(ⅱ)中間処理		金属くず	圧縮	5,737
		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類(付着物)	金属くずから選別したもの(内数)	3,023
		ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず(付着物)	金属くずから選別したもの(内数)	0
	うち再資源化等	金属くず	圧縮	5,737
		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類(付着物)	再利用	3,023
		ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず(付着物)	再利用	0
		再資源化等量小計		8,760
中間処理量合計				8,760
(ⅲ)最終処分				
最終処分量合計				0
(ⅳ)中間処理後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等	金属くず	再利用	5,737
		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	再利用	
		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類(処理委託)	破砕、焼却(熱回収)	3,023
		ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず・がれき類	再利用	
		ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず・がれき類(処理委託)	選別・破砕	0
		再資源化等量小計		8,760
中間処理後処分量合計				8,760

Ⅶ.　有価物の処理量

環境レポート	種類	加工法	処理量(kg)
2023年度総入荷量			11,118,559
加工処理 (機械処理)	金属	圧縮	4,324,867
		破砕	812,548
		検収(選別・加工)	4,645,861
加工処理品合計			9,783,276
無加工	金属		366,824
加工選別後の廃棄物	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	再利用	968,459
2023年度総出荷量			11,013,675

Ⅷ. EA21推進体制

2022年4月1日



職名	役割
最高責任者	【代表取締役】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【統括環境管理責任者・環境管理責任者】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【事務局担当者】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、3ヵ月に1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

Ⅸ. 環境経営目標とその実績

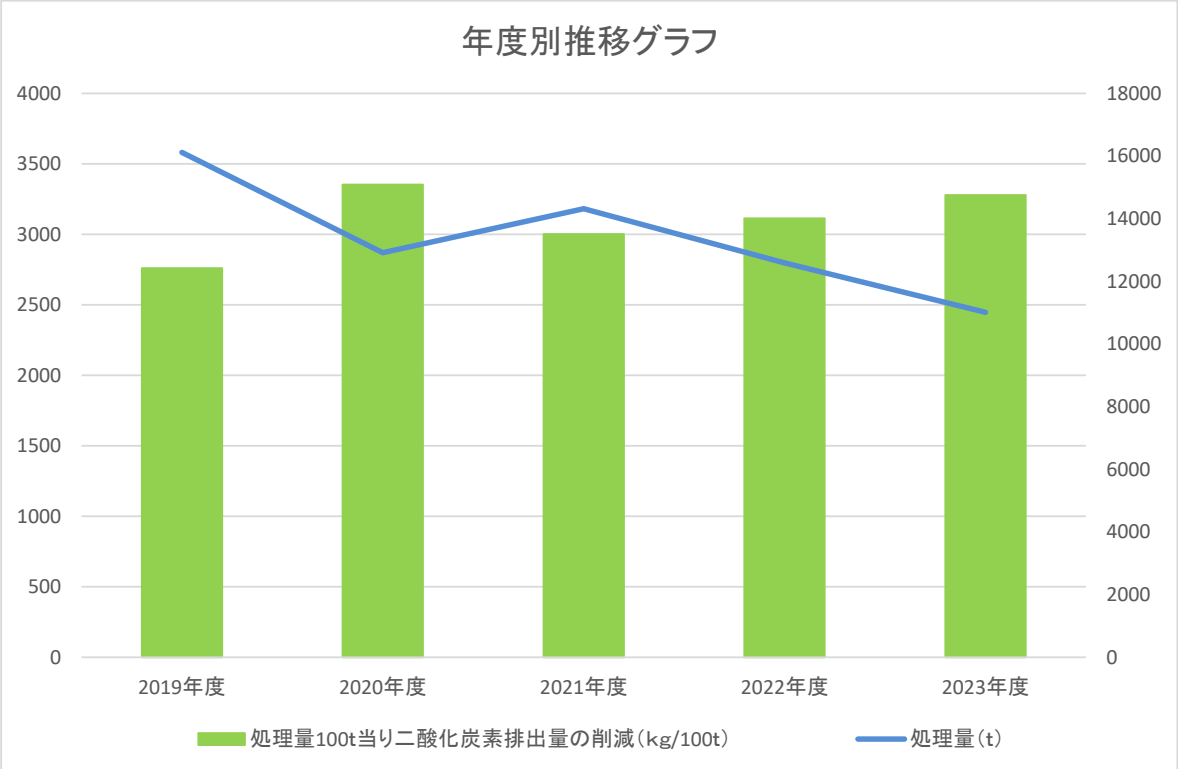
当社の2020年度実績を基準年として、3年間(2023年度(当年度)、2024年度(次年度)、2025年度(2年後))の活動目標を定め活動を開始した。

年度 / 項目		2020年度	2023年度			2024年	2025年度
		基準年度	目標(目標1%)	実績	削減率	目標(目標2%)	目標(目標3%)
二酸化炭素総排出量実績	kg-CO2	433,100.2	428,769.22	361,067.80	○ ▲15.79	424,438.22	420,107.21
処理量100t当り二酸化炭素排出量の削減	kg/100トン	3,357.37	3,323.80	3,278.56	○ ▲1.36	3,290.22	3,256.65
一般廃棄物排出量	kg	755	747.45	1,315	× ＋75.93	739.90	732.35
処理量100t当り 一般廃棄物の削減	kg/100トン	5.85	5.79	11.94	× ＋106.08	5.73	5.67
水使用量	㎥	563	557.37	478	○ ▲14.24	551.74	546.11
処理量100t当り水資源投入の削減	kg/100トン	4.36	4.32	4.34	× ＋0.45	4.27	4.23
照明のLED化	事業所のLED化		営業所のLED化	LED率：0%		事務所内のLED化	事務所内のLED化
本業に関する目標	①エコドライブの推進 ②電気使用量の削減の徹底	-	①エコドライブの推進 ②電気使用量の削減の徹底	①軽油の減少 ②契約電力が下がった	-	①エコドライブの推進 ②電気使用量の削減の徹底	①エコドライブの推進 ②電気使用量の削減の徹底

※2022年よりウエスト電力→東京電力→日本テクノへ変更。(本社発電所のみ東京電力のまま)
※日本テクノの2022年度調整後のCO2排出係数＝0.446kg-CO2/kwhを使用。
※東京電力パワーグリッドの2022年度調整後のCO2排出係数＝0.438kg-CO2/kwhを使用。
※2023年度　CO2総排出量；361067.80kg-CO2
※2023年度　産業廃棄物収集運搬量199,453kg
※2023年度　産業廃棄物中間処理量8,760kg
※2023年度　産業廃棄物総排出量108,050kg

X． 処理量100t当りの二酸化炭素排出量削減の年度別推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
処理量(t)	16,117	12,912	14,323	12,594	11,013
処理量100t当り二酸化炭素排出量の削減(kg/100t)	2,760.19	3,354.24	3,001.82	3,113.90	3,278.56



このグラフからの分析・評価概要

1. 処理量(t)の多い2019年度及び2021年度と他の3カ年の処理量100t当りの二酸化炭素排出量を比較すると、処理量(t)の多い2019年度及び2021年度の方が他の3カ年より二酸化炭素排出量は少ない結果が出ている。

XI. 環境経営活動の取組と評価

1. 二酸化炭素の排出量の削減

取組計画	評価
《目標》 2020年度の実績に対して1%削減 《実施事項》 ①電力、ガソリン量の集計及びグラフ化 ②照明・PC電源不要時のOFFの徹底 ③エアコンの点検（フロン類漏えい点検） ④エコドライブ推進 ⑤車両・重機の点検・整備 ⑥油水分離層清掃 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認	基準年を2020年とし1%減を目標に算出した。 ガソリン使用量が基準年に比べると大幅に増えた。理由としては営業の人数が増えた為、営業車を1台増やし稼働率も上がったからだ。10月上旬にプレス機が故障してしまい、前年よりも多少電気使用量が減少した。また、スクラップの在庫も増えてしまい自社での引取を抑えた為、軽油使用量も減少した。全体でみると二酸化炭素排出量の削減は目標達成となった。
	次年度の取組内容
	まだまだ原油価格も高い為、営業車やトラックの使用時にエコドライブをより一層意識していきたい。

2. 廃棄物の削減

取組計画	評価
《目標》 2020年度の実績に対して1%削減 《実施事項》 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④裏紙使用ルールの徹底 ⑤目標達成状況・活動進捗状況確認	廃棄物量が1315kgとなり、基準年より75.93%も増加してしまった。 貯水池の清掃時、木の枝や雑草などが多く出た為増えてしまった。
	次年度の取組み内容
	分別ルールの徹底を心がけ、削減に努める。

3. 水資源投入量の削減

取組計画	評価
《目標》 2020年度の実績に対して1%削減 《実施事項》 ①毎月のメータを確認する（漏水防止） ②節水の徹底 ③増量ノズルへの交換 ④トイレの節水 ⑤目標達成状況・活動進捗状況確認	排水量は478㎥となり、基準年より14.24%の削減ができた。合計は目標未達成となってしまった。
	次年度の取組み内容
	次年度も水の節水を徹底し、削減できるように努める。

4.照明のLED化

取組計画	評価
《実施事項》 事務所内のLED化	今のところ事務所と食堂の蛍光灯はすべて水銀入り。
	今後の取組内容
	事務所と食堂のLED化を進める。

5. 本業に関する目標

取組計画	評価
《実施事項》 ①エコドライブの推進 ②電気使用量削減の徹底	①毎日の点検や、月一回のメンテナンスを欠かさず実施していた。 ②会社内の電力の不要時、電源OFFが徹底されていた。
	今後の取組内容
	①会社全体でエコドライブへの意識を高める。 ②使用料金の値上げもある為、より一層削減に努める。

XII.　環境関連法規制の遵守状況

1. 当社に適用となる環境関連法規

法規制等の名称	要　求（主なもの）	遵守状況
(1) 自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	NOX・PMの排出抑制	遵法
(2)道路運送車両法	・日常点検整備、定期点検整備 ・車検	遵法
(3)道路交通法	過積載の禁止	遵法
(4) 浄化槽法	年1回第11条検査を受ける	遵法
(5) 騒音規制法	届出、年1回の測定	遵法
(6) 振動規制法	届出、年1回の測定	遵法
(7) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・ 許可の取得 ・ 委託契約の締結 ・ マニフェストの運用・保管	遵法
(8) 労働安全衛生法	年1回の健康診断の実施	遵法
(9) 消防法	・ 防火管理者の設置 ・ 消防用設備等設置	遵法
(10)軽量法	年1回の検査受診	遵法
(11)フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

適用される主な環境関連法規等の一覧及びこれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はしておりません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

XIII.　代表者による全体の評価と見直し・指示

本年度の決算は、前年売り上げに対して16.79％減となった。売上減少の要因の一つとして、3番ヤードに設備してあるプレス機の不具合の影響によるプレス加工の大幅な遅延が含まれている。当社の宣言したSDGsに社会課題解決への貢献があり、リサイクルを通して資源の有効活動を促進している。リサイクルの推進を行っていくとともに、環境保全への取組として、資源利用の削減を推奨していく。その基礎となるものは3Rであり、すなわち、リデュース、リユース、リサイクルとなる。